



## 腎機能が気になったら（腎臓病）

### \* 腎機能検査について \*

腎機能の検査は、尿検査と血液検査が基本です。尿検査では、尿蛋白、尿糖、潜血を検査し、血液検査では血中クレアチニン値と血中尿素窒素値を測定します。これらを併せて腎臓の機能について判定を行います。

### \* 腎疾患について \*

腎機能検査で発見される腎疾患は極めて多様です。大まかには、腎炎、ネフローゼ症候群などの原発性腎疾患と、高血圧、糖尿病などの全身的な病気から、続発して腎臓機能が低下する二次性腎疾患に分類されます。



### \* 腎機能異常と言われたら \*

今回、初めて、腎機能異常のため精密検査を勧められている方は、たとえ症状がなくても医療機関による精密検査をする必要があります。特に、二次性腎疾患の場合、無症状の期間が長く、自覚症状発生時には、かなり進行して発見されることがしばしばあるからです。

一方、これまでの検査で毎年のように腎機能異常を指摘されている方は、その程度に大きな変化がないかどうか確かめてください。他の指標も含めて、大きな変化が無い場合は、精密検査へ急ぐ必要性は無いでしょう。しかし、変化を認める場合は、医療機関による経過確認をお勧めします。

### 精密検査はどんなものがあるか。



画像診断や他の部位の検査が行われます。画像診断は、一般的には、超音波、エックス線撮影、CT、MRIが組み合わせられて実施されます。場合によっては、血管造影や核医学的検査なども加えられるでしょう。また、眼の網膜やその血管の状態を撮影し、参考にすることもあります。

## 糖尿病と腎疾患

近年、糖尿病の重大な合併症である糖尿病性腎症が増加しています。我が国の透析治療原因の第2位であり、難治な疾患です。糖尿病は全身の動脈硬化を起こします。また、糖代謝異常は、毛細血管の動脈壁機能障害を引き起こすことも分かっています。よって繊細な血管の塊のような腎臓は、非常に影響を受けやすくなっています。

## 高血圧と腎疾患

高血圧も動脈硬化現象を促進させます。その結果、腎機能が低下することがあります。腎機能が低下すると血圧を上昇させるホルモンが分泌されることがあり、さらに血圧上昇が進行するという悪循環が起こることが報告されています。

## 生活習慣と腎臓機能

肥満、喫煙、食生活の偏りが糖尿病や高血圧を引き起こし、結果的に腎機能を傷害させる可能性があることを考えると、やはり生活改善を行うことが重要になってきます。もし、何らかの腎疾患と診断された方も、生活改善は治療の重要な柱ですから医師や栄養士などの助言を参考に症状の悪化を防ぐことが重要です。